

包括的な学校改善の推進に向けた校長のマネジメント

中核校	知内町立知内小学校	指定校	知内町立涌元小学校、知内町立知内中学校 福島町立福島小学校
-----	-----------	-----	----------------------------------

実践前の状況

- ・求められる学校や家庭教育について、教職員、保護者及び地域住民の共通理解が十分ではなかった。
- ・いじめや不登校等の今日的な教育課題に対して、子どもに寄り添った教育を充実させる必要があった。

実践の概要

教職員、保護者及び地域住民が参加する学校長による教育講演会の実施

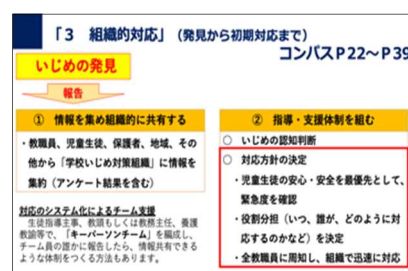
- ・授業参観及び懇談会時に、教職員、保護者及び地域住民を対象に教育講演会を実施することにより、子どもが置かれている社会的状況や求められる教育について共通理解を図った。
- ・グループディスカッションの対話形式を進めることにより、求められる教育の実現に向けた方策等について共有を図った。

課題対応に向けた即時的な各組織の在り方と定期的な情報共有の場や教職員研修の設定

- ・校内特別支援委員会やいじめ対策組織による協議を即時的に開催するとともに、協議内容を記録し、共有フォルダにアップすることにより、全教職員で対応を確認できるようにした。
- ・定期的に子どもの実態を交流したり、事例について研修したりする場を設定することにより、子どもに寄り添った教育の充実を図った。



【教育講演会】



【組織的対応に係る研修資料】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・教育講演会において、大人が育ってきた社会と現在子どもが生活している社会を比較して考える構成にすることにより、求められる教育について、教職員だけではなく、保護者及び地域住民が捉えやすいようにした。
- ・教職員研修における成果が他の事例に生かせるよう、導き出された対応策に至った過程や根拠を価値付けるなど、助言の仕方を工夫した。

〔教職員の取組〕

- ・事案等が発生した際は、個人の判断による対応とならないよう、組織的な対応に係る理解を深めるとともに、日常的に子どもの様子を交流するようにした。

成果 () と今後の課題 ()

教育講演会において、対話形式で協議する場を設定したことにより、「子育てについて、学校、家庭及び地域が一緒に支え合う必要性を感じた。」などの感想が聞かれるなど、学校、保護者及び地域が一体となって子どもを育てる必要性の理解を深めることができた。

〔学校評価(地域住民及び保護者)の「家庭や地域との連携を適切に行っているか。」の項目において、肯定的な評価が増加した。(R4:86% R5:92%)〕

目指す子どもの姿に焦点化したグランドデザインを提示し、学校経営方針とその具現化に向けた手立てについて、地域で共通理解を図る必要がある。